

マンスリー・プロジェクト

Monthly Project

月に1度は、新国立劇場にお気軽にいらしてください！入場は無料です



宮田慶子芸術監督のもと、2010/2011シーズンより始まった【マンスリー・プロジェクト】は、多くの皆様にご来場いただいております。2011年も多彩なプログラムをご用意。直近の演劇公演に多角的にアプローチするだけでなく、シリーズ「日本の劇」と題した連続講座など、新国立劇場ならではの企画も登場いたします。

1

月 > 演劇講座

彼が舞台をハダカにしたワケ

—演劇史と近代史の交差点でワイルダーを見る—

講師 | 水谷八也 (翻訳家・早稲田大学教授)

ゲスト | 『わが町』出演者 (ボーイズ&ガールズ)

5

月 > 演劇講座

シリーズ 日本の劇 I

江戸時代を背負って

～近代日本演劇のスタートライン～

講師 | ふじたあさや (劇作家・演出家・昭和音楽大学教授)

2

月 > トークセッション

『焼肉ドラゴン』のハツ (心臓)

鄭 義信 (劇作家・演出家)

李 闘士男 (映画監督)

宮田慶子

6

月 > 演劇講座

シリーズ 日本の劇 II

主張する演劇

～オペケベから〇〇〇〇リアリズムへ～

講師 | 村井 健 (演劇評論家) 聞き手 | ふじたあさや

3

月 > 演劇講座

『ゴドーを待ちながら』徹底解剖

講師 | 岡室美奈子 (早稲田大学教授)

7

月 > 演劇講座

シリーズ 日本の劇 III

二元の道は今……

～高める劇と広める劇～

講師 | ふじたあさや (劇作家・演出家・昭和音楽大学教授)

4

月 > ワークショップ

ゴドーを待ってみる？

講師 | 朝比奈尚行 (音楽家・演出家・俳優・脚本家)

8

月 > ワークショップ

夏休み特別企画

子どもと親の

コミュニケーション・ワークショップ

講師 | 西垣耕造 (東京演劇集団風 演出・俳優)



新国立劇場

<http://www.nntt.jac.go.jp/play/>

日時・会場・参加方法等は裏面をごらんください。

お問い合わせ 新国立劇場 情報センター TEL 03-5351-3011 (代)

1 月 **21** [金] 2:30 5階 情報センター
22 [土] 4:30 中劇場ホワイエ

> 演劇講座
彼が舞台をハダカにしたワケ
 —演劇史と近代史の交差点でワイルダーを見る—

講師 | 水谷八也 (翻訳家・早稲田大学教授)
 ゲスト | 『わが町』出演者 (ボーイズ&ガールズ)

応募期間: ~ 1/10 [月・祝] 定員: 21日のみ50名程度

ワイルダーは一切装置のない裸舞台での「演技」を好みました。彼は何もない空間に何を見たかったのでしょうか。彼が十代から書いてきた三分間劇なども視野に入れると、「良いお話」を越えて、未だに終われない「近代」の問題が見えてくるかもしれません。

2 月 **11** [金・祝] 5:30 小劇場

> トークセッション
『焼肉ドラゴン』のハツ (心臓)

出席者 | 鄭 義信 (劇作家・演出家) / 李 闘士男 (映画監督) / 宮田慶子

応募期間: 1/11 [火] ~ 31 [月]

劇作家・演出家の鄭義信と映画監督の李闘士男。演劇・映画・テレビとクロスオーバーに活躍する関西出身の二人が、『焼肉ドラゴン』のハツ (心臓) を大いにさばいてみせます。

3 月 **5** [土] 2:30 5階 情報センター
6 [日] 2:30

> 演劇講座
『ゴドーを待ちながら』徹底解剖

講師 | 岡室美奈子 (早稲田大学教授)

応募期間: 2/1 [火] ~ 21 [月] 定員: 各回50名程度

『ゴドーを待ちながら』の面白さはどこにあるのでしょうか。さまざまな舞台映像をお見せしながら『ゴドー』を多角的に分析し、「難解な不条理劇」というイメージとは異なるリアルな『ゴドー』に迫ります。

4 月 **16** [土] 1:00-6:00 地下2階
17 [日] 1:00-6:00 Cリハーサル室

> ワークショップ
ゴドーを待ってみる?

講師 | 朝比奈尚行 (音楽家・演出家・俳優・脚本家)

応募期間: 3/2 [水] ~ 15 [火]
 定員: 各回20~30名程度 ※申込資格: 年齢制限なし

『ゴドーを待ちながら』を題材に、パフォーマンス集団「時々自動」代表で、この作品への出演経験もある朝比奈尚行による、広く一般の方々向けのワークショップを行います。不条理演劇に、より親しめる楽しい時間です。

※先着順ではなく抽選となります。3/27(日)までに結果を通知します。
 ●HP (<http://www.nntt.jac.go.jp/play>) からお申し込みください。往復ハガキの場合は、プロジェクト名(開催日時)、お名前(本人)、年齢、電話番号をご記入ください。
 ●当日は情報センターでの公開・記録のため、映像収録を行います。

5 月 **12** [木] 6:30 5階 情報センター
14 [土] 2:00

> 演劇講座 シリーズ 日本の劇I
江戸時代を背負って~近代日本演劇のスタートライン~

講師 | ふじたあさや (劇作家・演出家・昭和音楽大学教授)

応募期間: 4/12 [火] ~ 5/1 [日] 定員: 各回50名程度

近代日本演劇はその前の時代から何を引き継いだか? 知らず知らずのうちに受け継いでしまっている、我々の中の〈江戸時代〉を腑分けして、現代日本演劇の位相を明らかにする。

6 月 **23** [木] 6:30 5階 情報センター
25 [土] 2:30

> 演劇講座 シリーズ 日本の劇II
主張する演劇~オッペケベから〇〇〇リアリズムへ~

講師 | 村井 健 (演劇評論家) 聞き手 | ふじたあさや

応募期間: 5/17 [火] ~ 6/6 [月] 定員: 各回50名程度

近代日本演劇には、オッペケベ以来、社会に目を向けさせ、体制を批判するという側面があった。その発展としてのプロレタリア演劇など、その変遷をたどる中で、我々の演劇に今も残る啓蒙主義という病根を明らかにする。

7 月 **14** [木] 6:30 5階 情報センター
16 [土] 2:00

> 演劇講座 シリーズ 日本の劇III
二元の道は今.....~高める劇と広める劇~

講師 | ふじたあさや (劇作家・演出家・昭和音楽大学教授)

応募期間: 6/14 [火] ~ 7/4 [月] 定員: 各回50名程度

島村抱月と小山内薫の対立で知られる、実験性と大衆性の二元の道。相反するかに見えるこの命題の〈現在〉を探る。それは観客論の問題かもしれないし、わかりにくさを競う一方で、わからせようとする作り手の問題かもしれない。

8 月 **6** [土] 1:00-4:30 地下2階
7 [日] 1:00-4:30 Cリハーサル室

> ワークショップ 夏休み特別企画
子どもと親のコミュニケーション・ワークショップ

講師 | 西垣耕造 (東京演劇集団風 演出・俳優)

応募期間: 6/28 [火] ~ 7/11 [月]
 定員: 各回15組30名程度 ※申込資格: 小学3年生~中学3年生と保護者

「相手と共にいる」って簡単なようでむずかしい……でも本当はとっても楽しいことです! 親も子も、ひとりの人間として向き合い、様々な演劇の手法を通して、人と一緒にいることの楽しさを再発見してみましよう!

※先着順ではなく抽選となります。7/24(日)までに結果を通知します。
 ●HP (<http://www.nntt.jac.go.jp/play>) からお申し込みください。往復ハガキの場合は、プロジェクト名(開催日時)、お子様のお名前、学年、保護者のお名前、年齢、続柄、電話番号をご記入ください。
 ●当日は情報センターでの公開・記録のため、映像収録を行います。

参加方法 入場は無料です。ただし、HP (<http://www.nntt.jac.go.jp/play>) または往復ハガキでの事前のお申し込みが必要です。往復ハガキの場合、プロジェクト名(開催日時)、参加人数(2名まで)、お名前、電話番号をご記入ください。また返信ハガキの表には住所をご記入の上、〒151-0071 渋谷区本町1-1-1 新国立劇場情報センター「マンスリープロジェクト」受付係 までお送りください。
 ※ワークショップは申込内容が異なりますのでご注意ください。

●1プロジェクトにつきお一人様1回の応募とさせていただきます。
 ●往復ハガキの場合は、受付開始日から締切日当日までの消印を有効とします。
 ●先着順に受け付けますので、定員に達した場合は締切日より前に応募を締め切ります。(※ワークショップを除く)
 お客様の情報は、本プロジェクトの緊急連絡や当劇場主催の公演等のご案内をお送りするため以外の目的では使用いたしません。
 ※2回開催の場合は同じ内容です。
 ※やむを得ない事情により、日程・出演者等が変更になる場合があります。